

オーストラリア留学報告

酒巻裕太

平成 28 年度埼玉県奨学生としてオーストラリア・クイーンズランド州に派遣して頂きました酒巻裕太です。この報告書では、皆様に現地の情報・生活をお伝えします。

私が留学したクイーンズランド州は埼玉県の姉妹友好州であり、オーストラリアの東側に位置します。そして、クイーンズランド州南部、ゴールドコーストにキャンパスを置くのが、語学研修先である公立サザンクロス大学です。大学には日本をはじめ、中国、台湾、インドネシア、ブラジルなど、様々な国からの留学生が通っていました。また、ゴールドコーストキャンパスはクイーンズランド州とニューサウスウェールズ州の境に位置するので、両州の学生が集っており、「どっちの時間で？」という会話をよく耳にし、とても新鮮でした(ニューサウスウェールズ州がサマータイム期間中、クイーンズランド州+1時間)。それでは本題に入ります。



州境の石碑

➤ 埼玉親善大使としての活動

私は、焼き鳥みそだれ（東松山市）、狭山茶（狭山市）、ラグビーワールドカップ 2019 大会（熊谷市）を紹介しました。

ゴールドコーストには市街地、住宅地に関わらず自然豊かで大小さまざまな、公園が多くあります。それらの公園には子供のための遊具、水道蛇口、日陰のある休憩場所、それに加え、電気式のバーベキューセットが備え付けてあります。

バーベキューセットは誰でも無料で、いつでも使えるので、週末になると学生や家族、親戚などが集まりバーベキューを楽しんでいました。

また、誕生日パーティーなどのイベントも公園で行うことも多く、風船やリボン、お菓子などを飾って祝っている家族もあり、とてもにぎわっていました。

私は学校帰りや、週末の昼など、友人と公園に行きバーベキューを楽しみました。バーベキューというと準備が必要だというイメージがありますが、オーストラリアでは近くのスーパーで食材、取り皿、アルミホイルなどを用意するだけで気軽にできるので、バーベキューが集いの行事になり、情を深めるきっかけになると感じました。

また、私が暮らしていたマイアミやサーファーズパラダイス、学校近くのクーランガッタなど、多くの場所で日本食店があり、日本の都市の名前をよく見かけました。特に人気なのは、お寿司のようです。片道45分の通学路には、目についただけでも3軒の寿司屋がありました。

ホストファミリーは日本食、特に寿司が好きでした。ホストマザーは「手巻き寿司に挑戦したが、具材とお米がばらばらになってしまい、うまく作れなかった」と言っていました。私も寿司をつくることができず、狭山茶と一緒に提供することができませんでした。つぎの課題が見つかった気がします。



BBQ



日本食店

話は変わり、オーストラリアの人々のスポーツについても触れたいと思います。オーストラリアの人々にとって、スポーツは生活の一部です。多くの人々は、昼間は学校や職場に行き、朝・夕はスポーツを楽しんでいます。

朝はランニングや水泳、サーフィンを楽しむ人が多く、夕方は朝の活動に加え、スケートボードや自転車、集団で楽しむラグビーやサッカー、ビーチバレー、テニスをする人々が目立ちました。

オーストラリアの学生は、学校の部活動のようなものに属することもあります。多くは地元単位のクラブに属しているようです。自宅近くのグラウンドがある公園では、夕方に学生たちが練習をし、夜に大人が練習していることが多かったです。

また、週末にはスタジアムでラグビーの試合を観戦する家族もいます。私のホストファミリーは特にラグビーが好きで、テレビ観戦をよくしていました。ラグビーワールドカップ2019大会についても知っており、埼玉県で試合が行われるということをし、しっかり伝えることができました。



夕方のグラウンド

➤ 言語学校での授業について

語学学校には、日本・中国・台湾・インドネシア・ブラジルなどの国の学生が留学に来ていました。私は春休み期間を利用した4週間の短期滞在でしたが、他の学生は1年～4年長期滞在する学生がほとんどだったので、授業内容は学部留学準備のようなものでした。1クラス10人前後の少人数授業で、毎週スピーキング、ライティング、リスニング、リーディングのうち1つの試験があり、上達の度合いを確認します。

授業では先生からの一方的な教えだけではなく、学生同士・学生と先生が話すことを重視して進んでいきます。ここで私は各国の大きな違いを感じました。それは発言量・積極性の違いです。

臆することなく発言や質問をする活発な授業形式に、私は初め戸惑いました。日本では、それほど積極的な授業はなく、発言する必要がある場合、許可を得てから発言することが多いです。発言をしたがらない人も多いと思います。先生の問いかけに、生徒からのレスポンスもなく授業が進んでいくことが多いです。ここで私は、日本での英語の授業時に、英語圏の先生が何度も繰り返し、「何か反応をして欲しい」と授業中に行っていたことを思い出し、その言葉の意味が分かりました。

留学していた期間はちょうど、新学期の始まる時期にあたります。大学の中庭ではライブやクラブの紹介、サンドイッチの配布など様々なもてなしがされていました。このイベントは1週間ほど行われ、それに合わせて高校生へのキャンパスツアーなども開催され、とてもにぎわっていました。



教室の様子



中庭の様子

➤ 通学について

私は通学にバスを利用していました。私の住んでいたマイアミから大学までは約 20 km あり、通学時間は 45 分程度です。クイーンズランド州ではバス、電車、フェリーの乗車に使える Gocard (ゴーカード) という IC カードがあります。日本の関東圏で用いられている SUICA、PASMO のようなものです。

Gocard を使用すると、通常料金の 7 割の価格で交通機関を利用することができます。また、大学の学部生は 5 割の価格で乗車することができます。また、週に 9 回利用するとそれ以降の運賃が半額になる制度もあり、学生が月曜から毎日授業に参加すると金曜日には半額で乗車できることとなります。このカードがあると乗り降りも楽にでき、割引も使えるので、クイーンズランド州を訪れた際は Gocard を作るととても便利です。

➤ 現地での生活

ゴールドコーストから北へ約 100 km のところに、オーストラリア 3 番目の都市ブリスベンがあります。ブリスベンへは、先ほど紹介したバスと電車を使って 1.5 時間ほどで行くことができます。このわずか 100 km ほどの移動で、街の姿はリゾート地から大都市へと変わり、歴史的で重厚感のある建物とモダンな高層ビル群、豊かな自然の調和を楽しむことができます。

特におすすめできる建造物はブリスベン市庁舎です。博物館、コンサート、展望タワー、館内ツアーなど魅力的なポイントがたくさんあり、それをすべて入場無料で楽しむことができます。

地元のマイアミでは、週末夜のマイアミマーケット、日曜朝市などの催しがありました。マイアミマーケットでは各国の料理やお酒、スイーツ、バンドによる生演奏が楽しめ、子供から大人まで楽しめる地元の憩いの場となりました。日曜朝市は地元マイアミ高校の校庭で行われます。テントや、車の荷台を使うなどして簡易的な屋台を作り、地元とれた野菜や果物、手作料理などのお店をだしていました。こちらもアットホームな雰囲気ので地元の温かさを感じることのできるものでした。



ブリスベン市庁舎



マイアミマーケット



朝市

➤ 放課後・週末について。

私は主にサーフィン、スケートボード、ランニングをしていました。

サーフィンでは日本との波の違いに注意が必要です。海に入るときはライフセーバーのいる場所、フラッグが立っている場所を選ぶことが大切です。ゴールドコーストの波はとても強く、体に叩きつけられるような大きな波です。流れも複雑で何個もの波が重なり合い、色々な方向に力がかかります。また、オーストラリアの海というとサメを思い浮かべる人もいるでしょう。実際、サメは時々出没するため、定期的にヘリコプターが飛んで見張っています。サメが発見された時は、ビーチにサイレンが鳴り響くので、速やかに退避します。

スケートボードは、ボードを持っていればどこでもできると言って良いほど道が舗装されており、また、至る所にスケートボードパークがあるので、おすすめのスポーツです。

ランニングは、海辺で行うのが安全かつ快適です。ランニング用の道があり多くの人利用しています。街灯も一定間隔に設置されているので、夜でも安心です。また、気分転換にビーチに入ると、歩くたびに砂の「きゅっ、きゅっ」という音が楽しめます。



スケートボードパーク

➤ 留学を終えて

私は留学中たくさんの魅力的な人に出会いました。ホストファミリー、大学の友達、先生、他の語学学校の学生をはじめ、お店の店員やバスの運転手、公園の学生たち、近所の人々、など数えきれないすべての出会いが特別に感じられ、新たなものを手に入れました。

私は今回の留学でオーストラリアはもちろん、中国、台湾、インドネシア、スイス、フランス、スペイン、イタリアなど今までにないほど多くの国の人々と有意義な時間を過ごしました。それぞれの国の第一言語ではコミュニケーションが難しくても、英語を使うことでいろいろな言葉、経験の交換ができ、不思議な感じがしたもの、それがとても新鮮で、自分の住んでいる世界が広がる実感がありました。中国人、台湾人、インドネシア人など、同じアジア圏でも全く異なる発音。スイス人、スペイン人のどこか聞きやすい発音。フランス人の流暢で美しい発音。イタリア人の強いアクセントのある発音。すべては私感ですが、これらが私にこれからの外国語学習への大きな動機を与えてくれたことは確実です。

このような特別な機会を賜り、サザンクロス大学及び埼玉県庁の皆様をはじめ、当プログラムの関係者様に感謝します。



サザンクロス大学